

<令和5年度 運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	(有) 在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護ふくふく釜利谷
所在地	(〒236 -0045) 横浜市金沢区釜利谷南2-4-22 白山ハイツ 1階		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ご本人とご家族の希望や意向を伺い、住み慣れた地域で在宅生活を安心して開始・継続できるよう支援していきます。
- ・ご家族の介護負担を軽減し、無理のない在宅生活の継続を支援します。
- ・主治医や多職種との連携を図り、24時間対応で最期まで安心した在宅生活が送れるよう支援します。
- ・地域への「看護小規模多機能型居宅介護」のサービスについての啓発活動を積極的に行い、地域の方に選んで頂ける施設を目指します。
- ・介護度の高い方でも入浴できる機械浴を導入しています。安全に入浴して頂けるよう支援します。
- ・笑顔で楽しく過ごしていただけるよう、歌やゲーム 制作などのレクレーションを通して、生活リハビリを支援します。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023年 12月 25日	従業者等自己評価 実施人数	(18) 人	※管理者を含む
----------------	------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 13 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を 含む
出席者 (内訳)	■事業所職員 (4 人) □市町村職員 (___人) ■地域包括支援センター職員 (1 人) ■地域住民の代表者 (2 人) ■利用者 (1 人) ■利用者の家族 (1 人) □知見を有する者 (___人) □その他 (___人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目1～10)</p>	<p>①看護小規模多機能型居宅介護の特性を理解し、職員一人一人が理念に基づくサービスが提供できるよう心掛ける。</p> <p>②職員の専門性を向上するため、積極的な研修参加を促し個々が目標を設定する事で事業所全体の質の向上を図る。</p> <p>③休憩や休暇が取りやすい職場環境と、職員同士が協力して不測の事態にも対応できる事業所を目指す。緊急時・非常災害時に継続的なサービス提供ができるよう、充実したBCP（事業継続計画）の確立を早期に実現し、事業所全体で情報共有できるようにする。</p>	<p>①新人研修を実施し看護小規模多機能型居宅介護のサービスについて理解し、理念に基づき業務に取り組めるように努めた。</p> <p>②新人研修に加え職員育成のための社内研修、個人のレベルに合わせた外部研修への参加を促し機会を設けている。</p> <p>③職員が順次休憩が取れるよう声を掛け合っている。また職員間で話し合い、譲り合いながら休暇を取れるよう努めている。緊急時・非常災害時の対応について社内研修で周知を図っている。BCP（事業継続計画）の作成を急ぎ、事業所内で共有し不測の事態に備えていきたい。</p>	<p>①新人・新入職者への研修で看護小規模サービスや理念について理解を深める事でより良いサービスの提供に繋がるよう今後も継続していく。</p> <p>②新人研修・社内研修に加え、職員のレベルに合わせた研修への参加を充実させることでレベルアップを図り、伝達講習などで事業所全体のレベルアップが図れるよう今後も継続していく。</p> <p>③利用者へより良いサービスが提供できるよう、働きやすい職場環境を維持していく。年度内にBCPを作成し、事業所内で共有し周知していく。</p>

<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目11～27)</p>	<p>①利用者の特性(病状や生活歴)を理解し、介護・看護の面だけではない高齢者の暮らし全体の支援ができるようアセスメントし、職員間で共有できるようにする。 ②利用者の計画・目標をより明確に把握することで、小さな状態変化でも見逃さずに、計画見直しに反映できるように努める。 ③日常的に利用者の状態変化の情報共有を行い、事業所内の連携と事業所外の多職種との連携を図り、それぞれの専門性を活かしたサービスの提供に繋がるよう支援していく。 ④利用者・利用者家族へ看護小規模のサービスを理解できるまで説明する事で、サービス利用にあたり希望や意向を伝えやすい環境を作り上げ、その希望や意向をサービス提供に反映できるようにする。</p>	<p>①利用者の状態・生活歴だけでなく家族も含めた在宅生活を支えられるようアセスメントし計画立案した。ケアの内容を職員間で共有し統一した関わりができるように努めた。 ②利用者の生活目標を具体的にすることで利用者の状態変化に応じた目標・計画の見直しができるよう努めた。 ③日々のサービス提供の中で利用者の状態把握に努めた。事業所内外の多職種と連携を図り利用者を多角的に捉えることで専門性を活かした支援ができるよう努めた。 ④利用を開始してからも利用者や家族に看護小規模のサービスについて丁寧に説明した。必要時、繰り返し説明・補足を行い、本人や家族の意向を話しやすい環境づくりに努めた。</p>	<p>①ミーティングを充実させる事で利用者・家族の状況や実施しているケアなどを把握し、ミーティングノートを活用する事で職員間での共有も図れた。 ②利用者の生活目標を具体的にすることで状態に応じた関りができている。今後も継続していく。 ③事業所内外の多職種との連携により多角的に利用者を捉え細やかなケアを行う事が出来た。 ④サービスについて分からない事があれば、その都度説明・補足を行い丁寧に対応した。今後も話やすい環境作りに配慮し希望や意向をサービスに反映していけるよう努めていく。</p>
-----------------------	--	---	---	---

<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目28～31)</p>	<p>①無理のない在宅生活が送れるよう医療機関、その他関係機関と情報共有を行う。また、すべての利用者の緊急時の対応を主治医と連携し、24時間緊急時の対応ができる体制を構築する。</p> <p>②運営推進会議の更なる活用方法を見出し、情報提供や地域への提案を行い、サービス提供に反映できるようにする。</p>	<p>①退院カンファレンスに参加し退院前からの情報を共有する事で退院後の生活にスムーズに移行できるように努めた。また主治医を含めた情報共有を図り24時間緊急対応できるよう体制を整えることに尽力した。</p> <p>②運営推進会議において情報交換を行い、利用者が地域行事に参加するなど社会参加の場を提供した。また町内会長・地域包括・民生委員の方々に情報提供する事で看護小規模サービスの理解を促進できるよう尽力した。</p>	<p>①カンファレンスの参加で、事前に新規の利用者の情報を共有できスムーズに在宅生活へ移行するためのケアを検討・共有する事ができた。引き続き、主治医との連携を図りすべての利用者に24時間の緊急対応ができるよう体制を整えていく事に尽力していく。</p> <p>②コロナの流行も緩やかとなり地域活動も再開され、運営推進会議での情報交換をもとに、お祭りに参加させて頂くなど利用者も楽しませて頂いた。今後もサービスの理解を促進できるよう啓発活動を継続していく。</p>
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目32～41)</p>	<p>①「看護小規模多機能型居宅介護」のサービスを地域の方々に理解して頂くための具体的な啓発活動を考案し実践していく。</p> <p>②医療ニーズの高い利用者、看取り支援の必要な利用者の積極的な受け入れを継続して行える体制を維持し、職員の意識・技術向上も促す事により、地域での役割を最大限発揮できるようにする。</p> <p>③「地域包括ケアシステム」の言葉を取り上げ、事業所全体で意識づけを行っていく。</p>	<p>①施設前に掲示板を設置し施設内の様子や食事内容などの情報を視覚的に地域の方に伝えた。</p> <p>②医療ニーズの高い利用者や看取り支援の必要な利用者の受け入れを積極的に行い、主治医と連携し24時間体制で関われるよう努めた。</p> <p>③「地域包括ケアシステム」について事業所内に掲示し職員への意識づけに努めた。</p>	<p>①施設前に掲示板を設置し、施設内の様子をより分かりやすく伝達している。この事は、運営推進会議に参加して頂いている地域の方にも評価して頂いた。掲示板の情報を充実させ、施設を身近に感じて頂けるよう今後も啓発活動を継続していく。</p> <p>②医療ニーズの高い利用者や看取り支援の必要な利用者への対応を更に充実させるため個々の知識・技術の向上を図るとともに最期まで安心した在宅生活を送れるよう主治医と連携し24時間の緊急体制を強化していく。</p> <p>③「地域包括ケアシステム」の一役を担えるよう、看護小規模サービスの啓発活動に努めていく。</p>

<p>III. 結果評価 (評価項目42～44)</p>	<p>看護小規模のサービス導入により、住み慣れた地域・住み慣れた自宅で安心して在宅生活が継続できるよう支援し、利用者・利用者家族が在宅で看取りまでを選択できる安心感を得て頂けるよう尽力する。</p>	<p>看護小規模サービスについて理解していただけるよう、丁寧に繰り返し説明し理解に努めた。また複合型施設として様々なサービスを組み合わせ、緊急時24時間体制のもと安心して在宅生活を開始・維持できるよう支援した。</p>	<p>「地域包括ケアシステム」の一役を担う施設として職員が理解を深め、利用者や家族が安心して在宅生活を送れるように支援している。緊急時24時間体制を維持していく。看護小規模サービスの啓発活動を継続し地域の方に選んでいただけるような施設を目指していく。</p>
----------------------------------	---	---	---

※ 「前回の改善計画」 および 「実施した具体的な取組」 は事業所が記入し、「進捗評価」 は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」 および 「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目1～10)</p>	<p>①新人・新入職者への研修で看護小規模サービスや理念について理解を深める事でより良いサービスの提供に繋がっている。</p> <p>②新人研修・社内研修に加え、職員のレベルに合わせた研修への参加で事業所全体のレベルアップが図れた。</p> <p>③利用者へより良いサービスが提供できるよう、働きやすい職場環境を維持することができた。年度内にBCPを作成し、事業所内で共有し周知していく。</p>	<p>① 看護小規模多機能のサービス・理念について、職員の理解を深めサービスを提供できるよう新人研修・社内研修を実施し、より多くの職員の参加を促していく。また社外研修への参加も促していく。</p> <p>② ヒヤリハットや事故報告書をもとに検討会を開催し、対応策の周知・徹底を図ることで、事故件数を減らしより良いサービスに繋げていく。</p> <p>③ 事業所内でBCPの内容を周知していくとともに、社内研修や防災訓練、運営推進会議での地域の方からの意見を参考に災害や緊急時にも対応できるようにし、継続的なサービスが提供できるようにしていく。</p>

II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目11～27)	<p>①ミーティングを充実させる事で利用者・家族の状況や実施しているケアなどを把握し、ミーティングノートを活用する事で職員間での共有も図れた。</p> <p>②利用者の生活目標を具体的にする事で状態に合わせた関りができている。</p> <p>③事業所内外の多職種との連携により多角的に利用者を捉え細やかなケアを行う事が出来た。</p> <p>④サービスについて分からない事があれば、その都度説明・補足を行い丁寧に対応した。今後も話やすい環境作りに配慮し希望や意向をサービスに反映していけるよう努めていく。</p>	<p>① 利用者の状態に合った生活支援ができるよう情報共有を行い、統一した関わりが継続できるようにする。</p> <p>② 医療ニーズの高い利用者でも安心して在宅生活が送れるよう、看護小規模多機能の特性を活かし、利用者・家族の意向に沿った具体的なケアプランの作成をし、介護負担の軽減に努める。</p> <p>③ 事業所内外の多職種と連携し、利用者の状態に合わせたサービスを検討・導入する。</p> <p>④ 看護小規模のサービスについて、利用者や家族に丁寧に説明し、必要であれば補足し希望や意向をその都度確認しサービスに反映していく。</p>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目28～31)	<p>①カンファレンスの参加で、事前に新規の利用者の情報を共有できスムーズに在宅生活へ移行するためのケアを検討・共有する事ができた。引き続き、主治医との連携を図りすべての利用者に24時間の緊急対応ができるよう体制を整えていく事に尽力していく。</p>	<p>① 退院前カンファレンスなどから情報共有を行い、準備することで、スムーズに在宅生活がスタートできるよう積極的に参加していく。</p> <p>② 医師・看護師と連携し、すべての利用者の24時間の緊急対応ができる体制を構築し、看取りの対応を含め、利用者・家族が安心した在宅生活を送れるように支援していく。</p> <p>③ 利用者の疾患や生活を把握し、看護師・介護士だけでなく、多職種と連携しながら、利用者の起こりうる状態を予測し、安心した在宅生活を送れるよう情報を共有していく。</p>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目32～41)	<p>①掲示板の設置を地域の方に評価していただいた。内容を充実させ地域の方への看護小規模のサービスを啓発していく。</p> <p>②運営推進会議での情報共有を図り、利用者に地域の活動に参加して頂くことができた。</p>	<p>① 運営推進会議で、地域の方々に看護小規模多機能サービスについて理解を深めていただけるよう、会議を充実したものにしていけるとともに、掲示板を利用し施設についての啓発活動を継続していく。</p> <p>② 運営推進会議や地域の活動に参加することで、意見を頂きサービスに反映できるようにする。</p>

III. 結果評価 (評価項目42～44)	「地域包括ケアシステム」の一役を担う施設として職員が理解を深め、利用者や家族が安心して在宅生活を送れるように支援している。緊急時24時間体制を維持していく。	看護小規模多機能サービスを利用することで、医療ニーズの高い方の在宅療養や、在宅での看取りを考えている方も安心して生活していただけるよう、個別的な計画作成をし、看護・介護介入ができるようにしていく。
--------------------------	--	--

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い な い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	<ul style="list-style-type: none"> サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている 	17	1			職員の皆様の介護に対する意識の高さ、良いサービスが提供できていると思います。利用者さまの笑顔も多く皆様の優しい心遣いがうかがえます。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	<ul style="list-style-type: none"> サービスの特徴および事業所の理念等について、 	13	5				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	職員がその内容を理解し、実践している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 毎日の業務担当表に理念が印字されている。朝のミーティング等で共通認識を図り実践できるようにしている。					価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	5	11	1	1		✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	10	7	1		社内研修では 内容に充実を図り、サービスの向上につなげている。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が	13	4	1			✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	相互に情報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 毎朝のミーティングで情報共有されている。ミーティングノートを活用し参加できない職員も共有できるようにしている。具体的に上がった問題点は各職種からの意見を出し合い改善に努めている。					✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている 	13	5			利用者様やご家族の声が聞け、地域の方とも共有できて安心です。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 2か月に1度 運営推進会議を行い、地域の方からの助言や地域の情報を頂いている。その内容は朝のミーティングやノートで共有している。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	<ul style="list-style-type: none"> 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備 	11	6	1		職員の方々が働きやすい環境である事が、利用者さん	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	備に努めている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 各職員のライフワークバランスを考えた勤務形態が柔軟に取り入れられている。自身や家族の急な体調不良にも対応できている。 十分な休憩時間が取れていない。				が安心して来れるのだと思います。	価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	11	7				✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 朝のミーティングで情報共有を行っている。勤務中でもリーダーを中心に声を掛け合いコミュニケーションを図っている							
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保	14	4				✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できて いる	あまりでき ていない	全く できてい ない		
	保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 事故発生や事故防止について、個人情報保護についての研修がある。 各車両にはドライブレコーダーが搭載されており、事故発生時は検証できている。ヒヤリハットや事故報告を行い、改善策が検討されている。					対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	10	8			地域の方・町内会長・民生委員・地域ケアプラザも参加した避難訓練が行われている。対策も出来ており、安心した利用ができます。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	11	7				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者の変化や自宅での状況に応じてアセスメントを行いケアに反映できている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	10	7	1			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 朝のミーティングを活用し情報共有がされている。それぞれの専門性を活かしたアセスメント・ケアがなされている。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、	11	7				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	その目標の達成に向けた計画が作成されている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ケアマネを中心に、本人・家族の意向が確認されており、その目標に沿った計画が作成されている。					し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	8	10				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	6	12				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	7	11				<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者の日々の状態や状態の変化を看護・介護で共有しプランへ反映している</p>					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	11	6	1			<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者と家族の状況を踏まえた通所・宿泊の検討がされている。 適宜訪問し生活状況の確認を行っている</p>					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	13	5				<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 報告書を作成し毎月主治医に利用者の状況を報告している。 適宜、薬剤師やマッサージ、リハビリ職員と連携をとり多職種間で情報共有されている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりでき て い ない	全く でき て い ない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	14	4			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です 	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> コミュニケーションも良好で、それぞれの専門性を活かした役割分担ができている。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている ○	13	5			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します 	
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予	14	4			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」 	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できて いる	あまりでき ていない	全く できてい ない		
	後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看護職より、病状や現状から起こり得る症状などを予測し注意する事など情報提供している。					について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	13	5				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用前に施設の見学に来ていただきサービスについての説明をしている。 契約時にも利用者や家族の理解度を確認しながら説明している。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	10	8				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 専門用語を使用せず、わかりやすく説明している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	12	6				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 看護師の訪問で 本人・家族への指導を行っている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	15	3				✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 状況・状態の変化に応じ、本人・家族の意向に沿えるようサービス提供している。必要に応じて主治医と連携をとっている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	11	7				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 現在の状況と今後に起こり得るリスクを説明しケアマネを中心とした、いつでも相談できる環境作りをしている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見	13	5				✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 主治医からの病状説明を受けた後 本人・家族の理解度や受容状況を確認し丁寧に説明している。それを記録に残している					視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	14	4				✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、	14	4				✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価しま

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	主治医等と相談・共有することができている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ケアマネ・看護師が主治医と緊急時の方針を共有している。					す ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	13	5				✓ 「即座に対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 休日・夜間を含め、24時間連絡が取れる体制になっている。							
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要	11	7			地域の皆様と顔の見える関係も出来ており、より安心	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 2か月に1度 運営推進会議を行い、地域との連携を図っている。				した事業所の周知もできている。	オーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	12	6				✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 議事録は保管されている。運営推進会議で得た情報はミーティングで共有されている。 玄関にファイルが置いてあり、いつでも誰でも閲覧できるようになっている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等につ	4	13	1		地域行事への参加や設置した掲示板を使用した広報啓	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	いて、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 地域の行事や 他施設での運営推進会議に参加している。				発は重要であり、継続して情報発信していただければと思います。掲示板の設置は非常に評価できると思います。	✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	1	2		15	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 登録者以外の訪問看護は実施していません。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できて いる	あまりでき ていない	全く できてい ない		
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	18					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					
	介護職員が喀痰吸引の研修を受けている。						
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	5	6	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					
	受け入れ体制は整っているが、現在利用者はいない。						
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れ	10	7		1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できて いる	あまりでき ていない	全く できてい ない		
	ることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 受け入れ体制が整っており、積極的に受け入れている。					✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	5	12	1		地域の民生委員と居宅介護支援事業所の情報交換会にも参加して頂き、地域のネットワークの構築ができています。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない)地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅	13	5				✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」に

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 提供エリアを限定せず受け入れている。					ついて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	7	10		1		✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き	10	8				✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のため

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりでき て い ない	全く でき て い ない		
	出しや向上のための具体的な取組等が行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 家族への介護指導や医療処置指導を行っている。					の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（ 6 ） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（ 11 ） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている（ 1 ） 4. 利用者の1/3には満たない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 多職種との連携 状態に合わせた計画の修正		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（ 11 ） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（ 7 ） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 24時間体制が整っており、必要があればすぐに訪問している。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（ 11 ） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（ 7 ） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 24時間体制が整っており、必要時すぐに訪問している。		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」